

第 30 回 土木施工管理 技術論文・技術報告 募集要項

(一社) 全国土木施工管理技士会連合会では、技術論文・技術報告を募集いたします。
優秀な論文や報告に対しては、技術論文報告審査委員会において審査し、表彰いたします。

応 募 要 項

1. 応募要件

執筆者（主・共同）は土木施工管理技士 1 級または 2 級〔技士補を含む〕、もしくは技術士（建設部門）で、個人または連名（共同執筆者は論文は 2 名、報告は 1 名まで）といたします。
執筆者が既に他団体等で公表した論文・報告（ほぼ同一内容も含む）は応募できませんが、社内報や所属技士会のみで公表されたものは応募できます。

2. 種類と内容

技術論文と技術報告の 2 種類があります。

対象とする工事は、できるだけ新しく施工されたもので、工事規模の大小・工種の制限はありません。

(1) 技術論文

建設現場における課題解決のために、新規性・有用性に優れた創意工夫や技術的改善等を行い、他の施工管理技士の参考になるようにまとめたものを対象といたします。

(2) 技術報告

建設現場における課題解決のために、創意工夫や技術的改善等を行い、他の施工管理技士の参考となるようにまとめたものを対象といたします。

また、時間外労働削減のための工夫や改善についての内容でも大丈夫です。この場合、技術的な内容でなくてもかまいません（今回の技術報告特別賞の対象となります）。

3. 応 募

(1) 応募方法：当会ホームページにおいて、インターネットからご応募ください。

※推奨ブラウザ Microsoft Edge または Google Chrome

(2) 募集期間：2025 年 7 月 1 日(火)から 2025 年 11 月 30 日(日)

(3) 応募数について

主執筆者、共同執筆者にかかわらず、一人 1 件の応募といたします。

また論文と報告の重複応募はできません。

同じ会社の方からの応募は、論文・報告とも一社あたり各 4 件までといたします。（会社連名可）

(4) 応募料金

技士会会員は無料、無所属は 2,200 円(税込)/1 件（学習履歴登録手数料 550 円(税込)は含みません）

(5) 【重要】原稿について

文字数や構成等についてはホームページ（<https://www.ejcm.or.jp>）→「その他の活動」→「技術論文」に記載されている内容に従ってください。

必ず、ホームページから原稿ひな型をダウンロードして、これを使用して（必須）、A4 用紙で技術論文は 4 枚、技術報告は 2 枚とする。

(6) その他

論文・報告中の商品名の記載は排除しませんが、商品名の宣伝や誹謗の意図が明確なものは認められません。

図表及び本文を引用した場合は、当会への提出前に必ず出典元許可を事前に得て、発注者への確認もお願いいたします。

(7)著作権について

- ①本著作財産権は、本著作者が論文・報告を応募した時点をもって、当会に譲渡されたものといたします。
- ②著作者自らが著作物の全文、または一部を複製・翻案などの形で利用する場合、当会は原則として、その利用を妨げません。但し、審査結果（4 月上旬）が出るまでは、他団体等での公表は、ご遠慮ください。

4. 審 査

- (1)応募された論文・報告は当会において査読し、内容が一定水準以上で応募要領を満たしているものを受理といたします。受理の場合は、**1 編につき論文は 15 ユニット（共同執筆者分 3 ユニット/人を含めて）、報告は 10 ユニット（共同執筆者分 2 ユニットを含めて）**の C P D S のユニットを付与いたします（注 1）。但し、C P D S（形態コード 205・206）に登録済みのものにはユニットの重複付与はいたしません（論文の差 5 ユニットも付与されません）。なお、表彰された場合はユニット増分を付与いたします。
- (2)受理された論文・報告は当会の技術論文審査委員会において審査し、表彰いたします。
審査においては以下の項目に重点を置いて評価いたします。
 - ①建設現場の課題解決のための創意工夫、施工・施工管理等の技術・効率の向上
 - ②工夫の他の現場への適用のしやすさ・適用の広さ、次世代への技術伝承などの適用性
 - ③ i -Construction 及びインフラ分野の DX を実践し、生産性向上や業務の改善に貢献
 - ④工事規模の大小・工事種類にとらわれず、施工管理技士としての創意工夫
 - ⑤**時間外労働削減の取り組みについては特定の現場にこだわらず会社としての取り組みでも構いません**
- (3)受理された論文・報告は、当会で論文報告集として発行するほか、都内で行う当会主催の技術発表会で発表していただくことがあります。また、受賞した論文・報告は会誌に掲載することもあります。

5. 表 彰

審査結果は 2026 年 4 月以降ホームページに、また 2026 年 JCM レポート 5 月号に掲載いたします。
表彰の種類は次表のとおりで、受賞者には賞状・副賞及び表彰の C P D S のユニットを付与いたします。

表彰の種類	技術論文		技術報告		表彰の基準
	表彰賞金	ユニット	表彰賞金	ユニット	
最優秀賞	7 万円	30(6)	3 万円	20(4)	最も技術的に優秀な論文及び報告
優秀賞	3 万円	25(5)	1 万円	15(3)	技術的に優秀な論文及び報告
インフラ DX 賞	5 万円	25(5)	—	—	i -Construction を含めインフラ分野の DX を実践し成果をあげた論文を選定
特別賞	1 万円	20(4)	1 万円	15(3)	特定の分野や他にない独自性などが高く評価された論文及び報告（注 2）

受理ユニットは 2026 年 2 月、表彰のユニットは 2026 年 4 月に付与いたします。
表彰欄のユニット数は 1 編あたりで受理ユニットが含まれます。（ ）内は共同執筆者 1 人分で内数です。
(注 1) 第 28 回まで 共同執筆者は外数で、論文 1 編で主執筆者 15 ユニット + 共同執筆者 3 ユニット × 人数
第 29 回から 共同執筆者は内数となり、論文 1 編で共同執筆者がいない場合、主執筆者 15 ユニット
共同執筆者がいる場合、主執筆者のユニットは 15－（3 × 共同執筆者の人数）
技術報告、受賞による増分についても同様の考え方を適用
(注 2) 第 29 回からの技術報告の特別賞については時間外労働削減の工夫・取り組みも対象といたします。